

こらぼ大森・地域イベント掲示板

未来の「いざ!」のために役立つ楽しい防災イベント 大田区総合防災訓練にブース出展します!

大森西出張所管内の21自治会・町会の住民の皆さんを対象にした「大田区総合防災訓練」がこらぼ大森で実施されます。平时に「顔の見える関係」を作っておくことが、「いざ!」という時の共助につながります。そのきっかけになればと考え、こらぼ大森の協働事業としてブース出展をします。在宅避難するうえでの知恵も得られます!

日時: 10月8日(日) 10時~12時 場所: こらぼ大森(ブース出展は体育館)

入場料: 無料 ※駐輪場に限りがあります。当日は徒歩でのご来場にご協力ください。

○水運びチャレンジコーナー

給水車や給水所から水を運ぶことを想定した体験を行います。

○家具転倒防止展示・相談コーナー

家具の固定は、命を守ることに直結しています。身近な材料できる家具転倒防止のコツがわかります。他に、在宅避難応援ブックも配布予定。数に限りがありますので、ご承知おきください。

主催: 大田区(防災危機管理課) ※ブース出展: こらぼ大森情報交流室1

問合せ/電話・FAX: 03-5753-6560 /mail: cbc10286@nifty.com (担当: こらぼ大森・藤條)



だれでもフェスティバル

それぞれの方法でみんないっしょに楽しもう!

日時: 9月16日(土) 10時~15時

場所: こらぼ大森 体育館

参加費: 無料 対象: どなたでも。

◇午前の部: だれでもスポーツ

ボッチャ・ラダーゲッター・福祉エアロ体験

◇午後の部: だれでもコンサート

太鼓、弾き語り、ダンスパフォーマンスなど

ポップコーンの出店もあります。(無料!)

スポーツは動きやすい服装で参加ください。

主催: NPO 法人大森コラボレーション

企画・運営: 障がい児・者実行委員会

連絡先: 03-5753-7884



園芸ボランティア募集!

こらぼ大森の玄関を彩る花を育てませんか?

のんびりと気軽に楽しめる園芸活動をきっかけにして、ボランティア活動を体験しませんか? 現在の参加者もガーデニング愛好家から、初心者の方まで年代も様々です。まずは、お気軽にご連絡ください。秋には菊の大輪が咲きます!

申込: 氏名、連絡先、園芸経験を添え下記まで。

問合せ: こらぼ大森(担当・山田)

電話・FAX: 03-5753-6560

Mail: cbc10286@nifty.com



発行: こらぼ大森ニュース編集委員会

TEL/FAX: 03-5753-6560

E-mail: cbc10286@nifty.com

URL: <http://collabo-ohmori.com/>

住所: 大田区大森西 2-16-2

大田区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

こらぼ

大森ニュース 第25号

2017年9月1日 発行

- 地域の憩いの広場 ー鶴渡公園ー
- 真心も届ける配食活動「こらぼ・このはな」
- 平和祈念写真展 開催報告
- こらぼ大森夏まつり 開催報告
- 掲示板「防災イベント」「だれでもフェスティバル」



地域の憩いの広場 ー鶴渡公園ー

初秋の日差しを反射してキラキラ光る噴水と豊かな木々の緑が、訪れる人の気持ちをほぐしてくれています。鶴渡公園は東邦医大の西にあり、地元の皆さんだけでなく、お祭りの時などは他の地域の方々も一緒に集う広々とした公園です。

園内には藤棚やベンチ、ユニークな遊具等が配置され中央には鶴の姿を模した噴水もあります。地域の皆さんに親しまれ、大事にされていることが伝わってきます。

Let's こらぼ



配食活動は健康を意識し、「食の安全」にも目配りをしたリーズナブルな価格が魅力の献立が特徴です。加齢により体力が低下し、調理だけではなく買い物にも困難が増す高齢者に重宝をされている貴重な活動です。

こらぼ大森は今回ご紹介の「このはな」さんも含め、配食活動グループが3つあります。

真心も届ける配食活動「こらぼ・このはな」

代表 佐野千代さん

設立時、桜の季節に由来して命名をした「こらぼ・このはな」は、主に大田区内で高齢者の自宅にお弁当を届ける配食活動をしてきて、今年で活動開始24年目を迎えました。調理や配達も含めメンバーはすべてボランティアで運営しています。

調理場所は、初めは池上にある生協の地区館や大城通りの商店街、その後は自宅も使い週2日、配食活動をしてきました。活動を開始して間もない頃は、人手不足が深刻でしたが、手伝いを申し出ていただいたメンバーの一人は、今も活動に参加してくださっています。

こらぼ大森では、平成16年4月の開設とともに、新たなメンバー3名も加えて「こらぼ・このはな」として配食活動を行ってきました。

旧大森第六小学校の給食室からのリフォームの話し合いにも加わり、現場の立ち会いまでさせていただきました。



▲「このはな」のみなさん

現在は、調理作業は5名ほどのメンバーで、楽しくおしゃべりしながら「あうん」の呼ばれで行っています。配食ご利用者の方のお食事とこらぼ大森内の職員の方への「ワンディッシュ・ランチ」の提供等で、毎回40人分程の食事をつくっています。

以前、あるご利用者に「私は、胃の全摘手術をしたんだけど『このはな』さんの揚げ物は胸やけがしないですね。驚いています」と言われたこともあります。「このはな」は、油も含めて原材料を厳選しています。いかに安く食べられるかも大事ですが、健康的で美味しい食事を提供できていることには自負があります。どの方もお弁当を心待ちにしてくださり、お届けする度に笑顔で受け取ってくださいます。

活動を振り返ると、「老いはわが人生の照り返しに、つつまれる」を励みにしてきたように思います。配食を通じてお年寄りに真心を届ける、そのような活動を私たちはしています。



▲お届け先でのひとこま

「平和祈念写真展」開催のご報告

(7月29日～30日)

3回目となる「平和写真展」、戦前から戦後にかけての地域の懐かしい街並みや戦災の中を避難する人々の様子等の写真や貴重な資料等を展示しました。

講演会では、戦前から戦後にかけての体験を3人の方がお話下さいました。天野正忠さんは、終戦で中国北東部から家族と一緒に命がけで帰ってこられたご体験を話され、子どもの目から見た戦時下の様子や終戦時の混乱した社会の様子が伝わってきました。

片田靖子さんは、原爆投下直後お母様と一緒に広島市内に入り被爆したこと、その後被爆者援護や戦争に反対する活動にもふれてお話下さいました。

大森に子どものころからお住いの田中茂さんは、空襲下の悲惨な様子をお話されました。勝利を伝える情報が繰り返し伝えられ戦争につき進んでいったことに対しては、子どもの目からも強く疑問を持ったそうです。

70代の女性は「戦争のことは親兄弟からきちんと話を聞くことができませんでした。戦争で亡くなった方のお身内の方々もどんなにつらかったでしょう。胸が痛みます」と感想を話していました。「写真展」には2日間で120名の方がご来場くださいました。

資料提供：大田区立郷土博物館、大田区立開桜小学校、東京大空襲・戦災資料センター
ご協力ありがとうございました。



▲講演会：近隣にお住まいの方が多く参加しました。

第14回こらぼ大森夏まつり開催ご報告

(8月20日)

去年に続き雨模様が心配ではありましたが、おかげさまで、大きな事故もなく開催することが出来ました。御礼申し上げます。

今年も“てをつなごう！みんなの力！”をテーマとし行いました。東北と熊本の被災地支援として、岩手や福島からのゲストをお招きした似顔絵コーナーや人形劇などの催し物は、特にご好評でした。天気にも恵まれ、来場者は去年より多く盛会となりました。

こらぼ大森夏まつりは、町会・自治会、NPO・ボランティア活動団体、近隣のお店や学校の生徒の皆さんなど、たくさんの方のご協力のもと、

地域が一丸となるイベントです。今後とも地域の皆様と手を取り合って、協力しながら地域に根差したイベントにしていきたいと思ひます。

(NPO 法人大森コラボレーション事務局長・和田文子)



▲沢田東町会の出店：宝釣りに子どもたちの長い列